ニホンナシの開花予測システムの開発

～栽培管理や作業を計画的に実施できる～

　ニホンナシは千葉県の名産品です。安定して高品質なナシを生産するためには、開花後の受粉作業などの栽培管理を計画的に行う必要があります。しかし、近年の気候変動により、開花日は年により２週間程度の変動があるため、予想が大変難しく、栽培管理に支障が出ています。

　そこで、品種ごとに開花日を簡単に予測することができる「ナシ開花予測システム」を開発しました。これは、産地での栽培管理に役立てられています。

１　成果の内容

⑴　県内で主に栽培されている品種「幸水」と「豊水」について、冬～春季の気温データをもとに、県内主要産地でのナシの開花日を予測できる「ナシ開花予測システム」を開発しました。（開花期を予測できる品種と地点の詳細は以下の通り。）

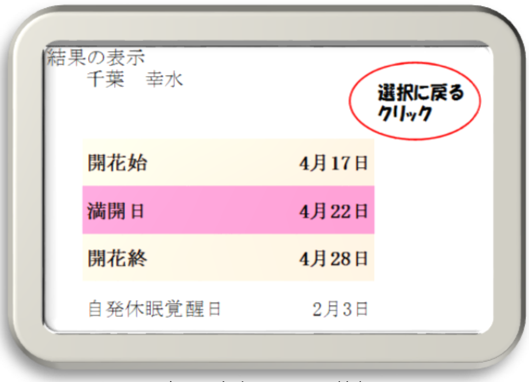
・「幸水」で５地点（千葉市、印西市、市川市、市原市、木更津市）

・「豊水」で５地点（千葉市、四街道市、鎌ケ谷市、八千代市、旭市）

⑵　システムに気象データや品種名を入力すると、「花が咲き始める日、満開日、咲き終わる日」を１か月程度前から２～３日以内の誤差での予測をすることができます。

⑶　この結果、生産者は受粉の準備や雇用の予定などの計画が立てやすくなり、高品質なナシの安定生産に役立っています。

ナシ開花予測システムの画面



表示される予測結果

２　普及の状況

　予測された結果は各農林事務所を通じて県内のナシ生産者に提供されています。本システムは、千葉県庁の担い手支援課から無償で配布されています（０４３－２２３－２９０７）。

３　問い合わせ先　千葉県農林総合研究センター
　　　　　　　　　果樹研究室　043-291-0151㈹

４　掲載年月　　　平成30年１月